

令和7年第14回教育委員会会議録

日 時	令和7年10月29日（水）13時30分開会 15時50分閉会
場 所	第二庁舎2階会議室5・6
出席委員	教育長 佐藤 勇 委員 荒井 由紀恵 委員 杉本 功 委員 曙 嘉輝 委員 柴口 史子
欠席委員	—
事務局職員	教育部長 高橋 裕輔 教育部次長 大西 正起 教育部学校指導室長 赤井 輝人 企画総務課長 巽 豊 学校教育課長 下口 剛彦 青少年課長 森井 茂 生涯学習課長 児玉 雅彰 学校給食センター長 高岸 徹 学校指導課長 立花 秀俊
書 記	企画総務課総務係 阿部 健
議題及び 議事の概要	別紙のとおり

1 第14回教育委員会会議付議事件及び結果表

令和7年10月29日（水）13時30分開会
15時50分閉会

事件番号	件名	議決結果
議案第1号	令和7年度学校運営協議会委員の委嘱について	原案可決
議案第2号	千歳市新学校給食センター整備運営事業者選定審査委員会委員の依頼について	原案可決
議案第3号	千歳市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第4号	教育委員会職員の処分について	原案可決
報告第1号	令和7年度新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業（報告）について	報告済
報告第2号	令和8年度千歳市教育予算要望について	報告済
報告第3号	令和7年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について	報告済
報告第4号	令和7年度千歳市民文化表彰受賞者について	報告済

2 議題及び会議の概要

教育長	<p>(開会)</p> <p>令和7年第14回教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>議案第1号、議案第2号及び議案第4号は、人事に関する議事又は個人情報に関する議事であるため、秘密会にしたいと考えますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように取り扱いたいと思います。</p> <p>日程2 会議録の承認について、お願いします。</p>
総務係長	<p>令和7年9月30日に開催されました令和7年第13回教育委員会会議は、議案が1件、報告が1件ございました。</p> <p>議案につきましては、議案第1号 教育委員会職員の任免について、原案のとおりご決定いただいております。</p> <p>また、報告につきましては、報告第1号 教職員の逮捕について、報告済とさせていただきます。</p> <p>以上でございます。</p>
教育長	<p>会議録の承認の件は、よろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続きまして、日程3 教育長の報告です。</p> <p>まず、はじめに、これまで、荒井委員には、教育長職務代理者を担っていただいておりますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項において、教育長職務代理者は教育長があらかじめ指名することとなっておりますことから、この度の教育長就任にあたり、改めて、荒井委員にお願いいたしましたので、報告いたします。</p> <p>改めまして、昨日は石狩管内教育委員会委員研修会へご参加いただき、お疲れ様でございました。来年度は千歳開催ということで、プレッシャーがかかるところでありますが、内容については今後皆様にもご相談しながら検討していきたいと思っておりますので、よろしく願いたします。</p> <p>次に、10月の定例校長会で話した事項について、報告させていただきます。</p> <p>(資料に沿って、次の内容について説明)</p> <p>1. 確かな学力の育成について ～「全国学力・学習状況調査の結果概要」から</p>

	<p>2. 望ましい生活・学習習慣の定着に向けた学校・家庭・地域の連携強化について</p> <p>3. 令和8年度 教職員人事について</p> <p>4. 児童生徒への性暴力等防止に向けた取組の徹底について</p> <p>私からの報告は以上でございます。</p> <p>何かご質問等はよろしいでしょうか。 (一同「なし」の声)</p> <p>それでは、日程4 議案に入ります。 議案第1号 令和7年度学校運営協議会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。</p> <p><秘密会につき会議録省略></p> <p>それでは提案どおり決定させていただきます。</p> <p>続きまして、議案第2号 千歳市新学校給食センター整備運営事業者選定審査委員会委員の依頼について、説明をお願いします。</p> <p><秘密会につき会議録省略></p> <p>それでは提案どおり決定させていただきます。</p> <p>続きまして、議案第3号 千歳市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について、説明をお願いします。</p> <p>(千歳市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について、議案書に沿って説明)</p> <p>ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等がございますか。</p>
荒井委員	<p>様式を見るとかなり細かな内容を記載することになるようですが、実際の処理は、紙で提出することになるのでしょうか。</p>
学校指導課長	<p>紙で提出することとなります。</p>
杉本委員	<p>多様化の中身として、「1日につき2時間の範囲内」及び「1年につき10</p>

<p>学校指導課長</p>	<p>日の範囲内」のいずれかを選択できることとなっておりますが、「1日につき2時間の範囲内」に日数制限等はあるのでしょうか。</p> <p>日数制限はありません。</p> <p>ただし、2時間は、いわゆる給与が支給されない休暇となりますので、なかなかこれを取得する方は多くなく、まずは有休休暇等を使い、どうしても使わざるを得なくなったときに本制度を利用することになると思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>(一同「なし」の声)</p> <p>それでは提案どおり決定させていただきます。</p> <p>続きまして、議案第4号 教育委員会職員の処分について、説明をお願いします。</p> <p><秘密会につき会議録省略></p> <p>それでは提案どおり決定させていただきます。</p> <p>次に日程5 報告に入ります。</p> <p>報告第1号 第令和7年度新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業(報告)について、説明をお願いします。</p>
<p>学校指導課長</p>	<p>(令和7年度新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業(報告)について、議案書に沿って説明)</p>
<p>教育長</p>	<p>ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。</p>
<p>柴口委員</p>	<p>これまで千歳市では10年以上、やり方指導といった形で、子どもの力を正確に引き出すための指導を積み上げてきており、成果も上がってきているところですが、今回は、子ども同士のグループで、お互い見合ったり対話をしたり、客観的に自分を見たりということが増えているようで、学校としてはそれを「成果と課題」に記載しているのですが、教育委員会としては、そういったことが効果的と捉えているのかどうか、いかがでしょうか。</p>
<p>学校指導課長</p>	<p>授業改善という視点から、こういった取組は、運動能力の向上だけではなく、一般的な学習習慣等を含め、学力向上にも寄与するものではないかと思っております。</p> <p>特に、学び合いや対話、ICTの活用なども当たり前のように行われてき</p>

柴口委員	<p>ており、体力に限らず、様々な場面で活用されており、取組としては、これからの様々な面の改善に寄与するものと思っております。</p> <p>ほかの学習との関連性も非常によく分かりました。</p> <p>この調査の最終的な目標は、自分の体と健康を生涯にわたってコントロールすることができる力を付けていくためのものなので、やり方指導を行うだけではなく、自分で考えることが非常に大事になってくると思います。</p> <p>そういった観点で、この取組は非常に重要であると思っておりますので、例えば、1月に正式に結果が出たときに、学校として思うような結果が出なかったと感じたとしても、この取組をある程度大事にしていっていただきたいと思っております。</p>
杉本委員	<p>私もこの取組は重要であり、継続していってほしいと思っております。</p> <p>千歳市に限らず、北海道においても50m走やシャトルランの結果がかなり低い傾向が続いており、特に50m走は、北海道よりも千歳市のほうが向上している印象ですが、シャトルランは依然として差があります。</p> <p>シャトルランは全身持久力の観点で非常に重要であり、健康増進の上でも、他の種目以上に重要な項目であると思っております、何とか伸ばしていってほしいと感じているところです。</p> <p>重点校の小学校のシャトルランの結果が、全学年で全国より高い結果となっており、おそらく何か継続的な取組がなされてきた結果なのではないかと思っております。</p> <p>そういった好事例を、各学校に広げていっていただきたいと思っております。</p>
学校指導課長	<p>小中連携といった部分で、身近に見本となる人がいるということは、子どもたちにとって非常に大事な意識付けになるポイントだと思います。</p> <p>以前、青葉中学校区で、小中連携の取組として、小学校が中学校に行き、体力テストのやり方を教える取組を行いました。そこでも成果が見られました。そういった小中連携の取組が結果に寄与することが関連付けられておりますので、こういった取組を周知し、広めていきたいと思っております。</p>
教育長	<p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>(一同「なし」の声)</p> <p>それでは、これについては、報告済みといたします。</p> <p>続きまして、報告第2号 令和8年度千歳市教育予算要望について、説明をお願いします。</p>
企画総務課長	<p>(令和8年度千歳市教育予算要望について、議案書に沿って説明)</p>

<p>教育長</p>	<p>ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。</p>
<p>荒井委員</p>	<p>校内教育支援センターの支援員について、今年度中学校への配置が進み、本要望で小学校への配置拡大について記載がありますが、小学校への配置の要望は多くの学校から来ているのでしょうか。</p> <p>また、外国人ボランティアの配置拡充の要望については、今後需要がありそうですが、今後どのようにお考えでしょうか。</p>
<p>教育部次長</p>	<p>校内教育支援センター支援員の拡充について、学校から直接要望は来ては いませんが、中学校において一定程度の成果が出ておりますので、各校で、 特に大規模校において、配置をしていただきたいという声があることを聞いて います。</p> <p>一方、本支援員は、退職された教諭にお願いしており、定年延長などの影 響もあり、現場に残る先生が多くなっている中で、成り手を探すのに苦慮す ることが予想されます。</p> <p>拡充については、そういったことも考慮したうえで検討を進めていく必要 があると考えております。</p> <p>また、外国人ボランティアについては、技能実習生などを含め、日本に来 る外国人の数が増えており、一昔前よりも日本語が全く話せない状況で日本 に来る外国人も増えていると思います。それに加え、ラピダスの関係で、今 後もさらにそういった外国人が増えていくことを考え、要望に上がってきた ものと認識しております。</p>
<p>教育部長</p>	<p>元々千歳市では英語圏ではない外国人が多く、英語を話せる方に有償ボラ ンティアとして来ていただいているのですが、英語を使うというよりは、そ ういった子どもたちは国語の授業などが受けられないので、別室で教える といったことをしていただいています。そういった対応には、ある程度の技術 や経験が必要であり、誰でもできる仕事ではないので、成り手を確保しな ければ、事業を維持していくことが難しくなってくると思っています。</p> <p>日本語が話せない子どもが増えていくと学校がパンクしてしまいますの で、今後考えていかなければならない事項だと思っています。</p>
<p>曙委員</p>	<p>昨年度と比較して新しい事項などはありますか。</p>
<p>次長</p>	<p>特に新しい部分はありませんが、例えば、エアコンの設置について、特別 教室や通級指導教室等への拡充の記載があります。</p> <p>この部分については、各校で事情が様々であり、現在、吸い上げて整理す る作業を行っております。</p>

	<p>ただ、設置に当たっては相当な事業費がかかること、また、電気容量の問題もあるので、今後整理していきたいと思っております。</p>
荒井委員	<p>以前整備したスポットクーラーはどうされているのですか。</p>
教育部次長	<p>そのスポットクーラーを、現在特別教室や体育館などで活用しています。中学校は今年度エアコンを整備したのですが、設置前には小学校で使用しなくなったスポットクーラーを必要な中学校に移管し活用していました。</p>
教育長	<p>ほかはいかがでしょう。</p> <p>(一同「なし」の声)</p> <p>それでは、これについては、報告済みといたします。</p>
	<p>報告第3号 令和7年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について、説明をお願いします。</p>
企画総務課長	<p>(令和7年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について、議案書に沿って説明)</p>
教育長	<p>ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。</p>
柴口委員	<p>目標を達成していないものを中心にご説明いただきましたが、例えば、「ふるさと教育の充実」について、指標『「地域や社会をよくするために何をすべきか考える、どちらかといえば考える」と回答した児童生徒の割合』は、非常に大事な意識であり、社会を構成していくうえで非常に重要な項目だと思います。</p> <p>ここの部分について、令和元年度の現状値から比べて、昨年上昇し、外部評価委員からの評価を受けたところですが、今回さらに上昇しています。</p> <p>令和4年度まではほとんど横ばいであり、令和5年度から上昇しておりますので、もしかするとコロナの影響、つまり、学校活動の中で様々な体験や色々な場所への見学に行くことによって子どもたちが色々なことを感じるができるという、その影響があったのかとも考えたのですが、何が要因になっているとお考えでしょうか。</p> <p>また、令和12年度の目標値についても、決して高くない数字に設定しており、その要因についても考えたのですが、もしかすると教育委員会が、学校の教育課程の過密さを考えたのではないかと。この分野は重要ではあるけれども、これ以上授業時数や指導時数を増やすことは困難であり、学校で子どもに指導できる時間は決まっていますので、学校も取捨選択しなければならない中で、そのことを理解した教育委員会があえて高い目標値に設定しな</p>

	<p>ったのではないかと想像しました。</p> <p>決して目標が低いので高くしてほしい、といった話ではなく、資料として生かせればよいと思っています。</p> <p>学校も教育課程を組む際に、効果的であることであれば教育課程の中に残したいですし、そうでないものであれば削らざるを得ない中で、こういったグラフなどを見て成果が上がった理由を考えることが非常に重要であると思います。</p> <p>何が子どもたちの教育に寄与するのかということ、例えば、空港や市内の工場などに見学に行くときに子どもたちは質問を考えていきますので、その伝え方がうまくいったのか、など、色々なことを考える資料になると思いますので、そういったことを考えていかれたらよいのではないかと思います。</p>
<p>教育部長</p>	<p>ふるさと教育に関しては、柴口委員のご指摘の通り、大事なことだということは分かりつつも、学校に対し、今取り組んでいる以上のものをもっとやってくださいというのは非常に苦しい部分があり、当時の現状値を少し上積みした形で指標の目標値を設定したと記憶しています。</p> <p>令和5年度、6年度に何によって急激に上昇したのか、究明するのは難しいかもしれませんが、令和3年度から新しい学習指導要領に変わっており、変化したと感じているのは、探究型対話型授業というものを、それまで以上に学校が力を入れて取り組まれているということです。</p> <p>この設問は、子どもたちが自分でどう考えるかを子どもたち自身に聞いて、子どもたちが答えている割合なので、やはり自分たちが考えるということが習慣付いて、成果として現れたのではないかと思います。</p>
<p>学校指導室長</p>	<p>各学校の校長先生の方針の中に、学力や体力以外にも、地域との連携ということ強く押し出していくのが現行の指導要領ですので、その地域との連携の中には、子どもの資質能力をどのようにするかという項目を立てたときに、子どもが大人になったときに、地元を愛する子どもを育てたい、ということを目標に掲げている学校が非常に多いです。ですから、そういう取組ともリンクしたり、その学校の経営目標が、主導する先生方にもある程度浸透してきていて、その様子を子どもたちが感じ、子ども自身も、自分の地元や地域のために考えたい、行動したいという思いが少しずつ増えてきているのではないかと思います。</p> <p>併せて、コロナが明けたことの影響もあるのではないかと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>こういった結果については、学校の先生もある程度意識しているものなのではないでしょうか。</p>
<p>学校指導室長</p>	<p>子どもがどのような回答をしたのかということは、学校も気にしていると</p>

杉本委員	<p>思います。</p> <p>子どもたちだけではなく、学校も同じような質問に対して答えておりますので、学校が答えた内容と子どもたちが答えた内容があまりにかけ離れていると、学校が意識して実施していることが浸透していないということになりますので、少なくとも管理職は確認していただきたいと思います。</p> <p>今年度の評価の手法について、総括の様式が変わり、去年までの総合的な結果を示したものよりも、今年度の方が、文面を読むとどのように取り込まれ、どのような成果があった、あるいは反省点があったということがよく分かるので、去年度よりもさらに良くなったのではないかと考えております。</p> <p>「地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実」について、指標であります「地域学校協働活動の実施回数と活動に参加するボランティアの延活動人数」が、令和5年度、令和6年度と非常に増えております。</p> <p>学校も地域と結びつこうという考え方で取り組んでいると思いますし、そもそもボランティアがたくさんいるというのは、学校が活用する場面においても選択することができ、とても良いことだと思うので、教育委員会の取組が優れているのではないかと思いました。</p> <p>特に、協働活動コーディネーターが各中学校区に配置されており、この方々を中心に様々な取組を展開していて、学校と地域が結びついているということであると、成果の出ている項目だと思いました。</p> <p>さらに、来年度からはボランティアのアンケートも学校評価に位置付けるということで、学校の現場に負担にならないようにといったご意見もありますが、そういったことも考慮しながら、より効果的なボランティアの活動やその充実を目指していただければと思いました。</p>
教育長	<p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>(一同「なし」の声)</p> <p>それでは、これについては、報告済みといたします。</p>
生涯学習課	<p>報告第4号 令和7年度千歳市民文化表彰受賞者について、説明をお願いします。</p> <p>(令和7年度千歳市民文化表彰受賞者について、議案書に沿って説明)</p>
教育長	<p>ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。</p>
荒井委員	<p>今回は2団体、2名の方々が表彰になるということですが、このほかに推薦された方はいたのでしょうか。</p>

生涯学習課長	他の推薦はありませんでした。
荒井委員	例年、推薦があった場合は、概ね受賞につながるものなのでしょうか。
生涯学習課長	過去においては、受賞が見送りとなったケースもあります。 千歳市の文化の振興に寄与されたかどうかということですが、毎年審査委員会において慎重に審議がされているといった状況となっています。
荒井委員	今回受賞となった個人2名は、それぞれ56年、44年の活動期間となっており、公立千歳科学技術大学理工工房も23年ほどの活動期間があるようですが、シャオニャンプロジェクトはどのくらいの活動期間となっているのでしょうか。
生涯学習課長	選考基準が20年以上となっておりますが、活動期間がちょうど20年となっております。
教育長	ほかはいかがでしょうか。 (一同「なし」の声) それでは、これについては、報告済みといたします。 これもちまして、本日の教育委員会会議を終了します。 (閉会)